

## とちぎ元気発信プラン：プロジェクトシート

## 「とちぎ元気発信プラン」プロジェクトシート目次

戦略	プロジェクト	主務担当部局	ページNo.
重点戦略1 次代を拓く 人づくり 戦略	1 未来を創る「とちぎ人」育成プロジェクト	教育委員会	1
	2 夢をつむぐ子ども・子育て支援プロジェクト	保健福祉部	4
	3 輝く女性活躍推進プロジェクト	県民生活部	6
	4 感動共有スポーツ推進プロジェクト	教育委員会	8
重点戦略2 強みを生かす 成長戦略	1 とちぎの産業躍進プロジェクト	産業労働観光部	10
	2 とちぎを支える企業応援プロジェクト	産業労働観光部	13
	3 とちぎの農林業成長プロジェクト	農政部	16
	4 観光立県とちぎプロジェクト	産業労働観光部	19
重点戦略3 暮らし安心 健康戦略	1 健康長寿とちぎづくりプロジェクト	保健福祉部	22
	2 安心の医療・介護確保推進プロジェクト	保健福祉部	24
	3 共生社会実現プロジェクト	保健福祉部	26
	4 暮らしの安心実現プロジェクト	警察本部	28
重点戦略4 快適実感 安全戦略	1 災害に強いとちぎの基盤づくりプロジェクト	県土整備部	30
	2 暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト	総合政策部	32
	3 持続可能なエネルギー社会実現プロジェクト	環境森林部	34
重点戦略5 誇れる 地域づくり 戦略	1 魅力あるとちぎの地域づくりプロジェクト	総合政策部	36
	2 とちぎの文化創造プロジェクト	県民生活部	38
	3 とちぎの誇りプロジェクト	総合政策部	40

重点戦略	1 次代を拓く人づくり戦略
プロジェクト	1 未来を創る「とちぎ人」育成プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	確かな学力、豊かな心、健やかな体をもち、未来に向かって、たくましく生きる子どもたちをはぐくみます。
重点的取組	①確かな学力の育成と教育環境の整備 ②豊かな心と健やかな体の育成 ③障害のある児童生徒一人ひとりに応じた教育の充実 ④高校教育の充実 ⑤グローバル人材の育成

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①全国学力・学習状況調査の平均正答率  出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」	目安値	(全国平均正答率との差) (小6) 国語A▲1.1 国語B▲2.3 算数A▲1.3 算数B▲2.0	すべての教科で全国平均正答率との差を▲2.0%以内	すべての教科で全国平均正答率との差を▲1.5%以内	すべての教科で全国平均正答率との差を▲1.0%以内	すべての教科で全国平均正答率との差を▲0.5%以内	すべての教科で全国平均正答率を上回る
	実績値	(中3) 国語A▲0.1 国語B▲0.6 数学A▲0.9 数学B▲1.2 %					
	達成見込						

成果指標の分析  
小学校国語B、算数Bは全国との差が2ポイント以上となっている。平成28年度実績値は、8月末公表予定。

成果指標		現状値 H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②新体力テスト体力合計点  出典：スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」	目安値	(小5) 男53.17 女55.38  (中2) 男41.71 女49.37 点	(小5) 男53.22 女55.44  (中2) 男41.75 女49.42 点	(小5) 男53.28 女55.49  (中2) 男41.79 女49.47 点	(小5) 男53.33 女55.55  (中2) 男41.84 女49.52 点	(小5) 男53.38 女55.60  (中2) 男41.88 女49.57 点	(小5) 男53.44 女55.66  (中2) 男41.92 女49.62 点
	実績値						
	達成見込						

成果指標の分析  
全国平均と比較し走・跳・投の基礎的な運動能力が低い状況にある。平成28年度実績値は、11月末公表予定。

(注) 達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている

### 3 満足度調査の結果

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2
満足・やや満足の割合	28.3%				
やや不満・不満の割合	7.9%				

### 4 展開方針

#### 確かな学力の育成と教育環境の整備

▷一人ひとりの学力向上を図るとともに、きめ細かな指導ができる教育環境の整備

- とちぎっ子学力アッププロジェクトの推進
  - ・とちぎっ子学習状況調査の実施
  - ・学力向上アドバイザー派遣事業の実施
  - ・調査結果活用研修会の実施

- 小学校における少人数学級の更なる推進

など

#### 豊かな心と健やかな体の育成

▷豊かな人間関係の構築と健康な生活を送るための健全な心身の育成

- 道徳教育の充実
  - ・道徳教育応援チームの派遣による学校支援
  - ・「教えてる道徳教育」各種指導資料の活用促進
  - ・道徳教育推進教師等研修会の開催

- いじめ・不登校などの問題行動等の防止や支援体制の充実
  - ・栃木県いじめ問題対策連絡協議会の開催
  - ・「いじめ・不登校等対策チーム」による学校支援
  - ・教員の指導力向上を目的とした各種研修会の実施

- 子どもの基礎的運動能力と体力の向上
  - ・「とちぎ元気キッズ育成事業」等の充実

- 子どもの頃からの勤労観・職業観の育成
  - ・中学校進路指導主事研究協議会における組織的・系統的なキャリア教育の推進に向けた教員研修の実施
  - ・職場体験活動などの体験活動を充実させるための支援
  - ・保護者用パンフレット「学ぶこと、働くこと、生きること」の作成、周知

- 新たな青少年教育施設の整備推進
  - ・基本構想の策定（パブリックコメント実施）
  - ・基本計画策定並びにPFI導入可能性調査の実施、整備・運営手法の決定

など

#### 障害のある児童生徒一人ひとりに応じた教育の充実

▷インクルーシブ教育システムの推進に向けた、特別支援教育の充実

- 就学前から高等学校卒業後までの一貫した支援体制の構築
  - ・個別の教育支援計画等の活用による支援情報の引継ぎの充実

- 特別支援学校における職業教育・就労支援の充実
  - ・流通・環境・食品・福祉の分野に関する職業教育の充実
  - ・新たな実習・就職先企業の開拓

など

#### 高校教育の充実

▷魅力と活力ある高校教育の充実

- ☆社会の変化に対応した特色ある高校づくりの推進
  - ・生徒の思考力、判断力、社会参画力等の実践力を育成するための「高校生学力向上総合支援事業」の実施

- 高校再編に向けた計画の策定
  - ・平成29年度中の計画策定に向けた、県民フォーラムの開催
- キャリア教育・職業教育の推進・充実
  - ・勤労観・職業観及び社会的自立に必要な能力や態度を育成する「キャリア形成支援事業」「インターンシップ推進事業」等の実施
- ☆高校生が自分の生き方を主体的に学び考える「じぶん未来学」の推進
  - ・全県立校において、平成28年度入学生から関連教科等で、関連する学習項目に併せて、親・家族・家庭などの意義や役割、地域社会について主体的に学び考えるためのプログラムの実施  
など

## グローバル人材の育成

### ▷グローバル人材の育成

- 英語教育の充実及び教員の指導力の強化
  - ・新しい英語教育の推進のための小・中・高等学校の連携強化
  - ・英語担当教員の英語力の強化と授業力の向上に重点を置いた研修の充実
  - ・生徒の英語によるコミュニケーション能力を育成するために英語ディベート等の学習活動を推進する研修の実施
- 高校生の長期・短期留学支援
  - ・語学力、コミュニケーション能力やチャレンジ精神を養うことを目的とする「高校生長期留学支援事業」「高校生短期留学プログラム支援事業」「県立学校短期留学支援事業」の実施
- ☆大学コンソーシアムとちぎが産学官連携により取り組む海外留学等への支援
  - ・とちぎグローバル人材育成事業の実施
    - (1) 共通プログラムの開講
    - (2) 留学支援
      - ①基礎コース（3週間程度）
      - ②上級コース（トビタテ！留学JAPAN 3ヶ月以上）
    - (3) 海外留学・インターンシップ体験者によるワークショップの開催

など

重点戦略	1 次代を拓く人づくり戦略
プロジェクト	2 夢をつむぐ子ども・子育て支援プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	若い世代が結婚、妊娠・出産、子育ての希望を実現することができるよう、出会いの場の創出や経済的支援制度の拡充、相談支援体制の整備促進など、子どもや子育てへの支援を充実します。
重点的取組	①結婚、妊娠・出産、子育て支援の充実 ②子どもを守りはぐくむ体制づくり

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32	
①婚姻件数 <small>出典：厚生労働省「人口動態統計」</small>	目安値		10,000組	10,150組	10,350組	10,670組	11,000組	11,250組	
	実績値	9,770組	9,452組						
	達成見込								
成果指標の分析		平成27年度実績値は目安値を下回ってしまっており、目標達成に向けて遅れが生じている。							
成果指標		現状値 H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②妊娠・出産について満足している者の割合 <small>出典：厚生労働省母子保健課調査</small>	目安値		—	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%	76.0%
	実績値	69.8%	—						
	達成見込		—						
成果指標の分析		平成27年度実績値は8月下旬公表予定							
成果指標		現状値 H27	H28	H29	H30	H31	H32	目標値 H33	
③保育所等待機児童数 <small>出典：厚生労働省「保健所等関連状況取りまとめ」</small>	目安値		125人	7人	2人	0人	0人	0人	
	実績値	250人	155人						
	達成見込								
成果指標の分析		保育所や認定こども園の新設等により受入枠の拡大を進めているが、申込児童数の増加等により、目標達成に向けてやや遅れが生じている。							
(注) 達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている									

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	33.3%				
やや不満・不満の割合	13.2%				

4 展開方針






<b>結婚、妊娠・出産、子育て支援の充実</b>	
▷地域全体で結婚を支援する環境づくりの推進	
☆結婚を希望する方への会員制の縁結びマッチングの実施	
☆地域や企業等で結婚を応援する取組を行う結婚サポーターの育成及び情報交換サイトによる企業間交流等の促進	など
▷地域において安心して妊娠・出産ができる体制の整備の促進	
☆市町が設置する「子育て世代包括支援センター」への支援	
☆産科医師の確保	
・学会、大学等と連携した産科医修学資金制度の周知	
・大学等と連携した県養成医師への産科の啓発	など
▷質と量の両面にわたり市町が提供する教育・保育サービスの充実の支援	
☆保育所や認定こども園、放課後児童クラブの整備等による受入数の拡大	
・保育所、認定こども園等の新設、増改築の促進による定員の拡大	
・とちぎ保育士・保育所支援センターの設置・運営による保育士の確保（宇都宮市と共同設置）	
・放課後児童クラブの整備促進	
・放課後児童支援員認定資格研修の実施	
☆幼稚園、保育所、認定こども園等の第3子以降保育料無償化の対象年齢拡大	
・対象を3歳未満児から未就学児全てに拡大	など
<b>子どもを守りはぐくむ体制づくり</b>	
▷地域における子どもたちの見守り体制づくりの促進と家庭的な養育環境の整備の促進	
○児童相談所の体制強化や関係機関との連携強化	
・児童福祉司等の専門職の配置の充実や資質の向上	
・県北児童相談所の整備検討	
・県南地区への児童家庭支援センターの設置検討	
○里親委託の促進など家庭的養護の推進	
・施設の小規模グループケアの推進及びファミリーホームの設置促進	
・新生児を含む乳幼児の里親委託の促進	など
▷貧困の状況にある子どもたちが健やかに成長することができる環境づくりの推進	
○ひとり親家庭に対する子育て・生活支援及び就労支援の推進	
・ひとり親家庭に対する子育てや日常生活等に関する相談機能の充実	
・ひとり親家庭の親を対象とする就労支援の充実	
○子どもへの学習支援や居場所づくりの推進	
・要支援児童放課後応援事業の拡充	など

重点戦略	1 次代を拓く人づくり戦略
プロジェクト	3 輝く女性活躍推進プロジェクト

## 1 プロジェクトの概要

目 標	女性がその希望に応じて個性と能力を発揮し、やりがいを持って、いきいきと活躍できる社会を目指し、女性も男性も共に輝く「とちぎ」をつくります。
重点的取組	①あらゆる場面における女性の活躍と参画の促進 ②ワーク・ライフ・バランスの推進

## 2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標値 H31
①職業紹介による女性就職率 <small>出典：厚生労働省「労働市場年報」</small>	目安値		30.8%	31.8%	32.8%	33.8%	34.8%	35.8%
	実績値	29.8%	29.9%					
	達成見込							
成果指標の分析		ハローワークへの女性の新規求職申込件数及び就職件数はほぼ横ばいであり、目標達成に向けて遅れが生じている。						
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②男性の育児休業取得率 <small>出典：栃木県「平成26年労働環境等調査結果報告」</small>	目安値		2.0%	3.2%	4.4%	5.6%	7.0%	8.0%
	実績値	0.8%	4.3%					
	達成見込							
成果指標の分析		平成27年の調査結果では男性の育児休業取得率が増加しており、概ね順調である。						
(注) 達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている								

## 3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	27.0%				
やや不満・不満の割合	16.1%				

## 4 展開方針

<b>あらゆる場面における女性の活躍と参画の促進</b>
▷官民協働による女性活躍の支援
○企業・団体・行政が一体となって女性活躍を支援する組織の設立・展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オール栃木体制による「とちぎ女性活躍応援団」の設立・運営</li> <li>・女性の視点からとちぎ材の魅力発信等に取り組む「とちぎの木を活かす女子の会～木輪～」の設立・運営</li> </ul>
○女性のネットワークづくりへの支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く女性同士のネットワークづくりを支援するモデル事業の実施</li> <li>・とちぎの女性活躍応援専用サイトの作成及び同サイトを活用した様々な情報の発信</li> <li>・次代を担う女性農業者による県域ネットワーク形成やプロジェクト活動の支援</li> </ul>



<p>○家事や子育て等の経験を生かし地域活動や起業等を希望する女性への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域で男女共同参画に関する普及啓発を実施する推進員の育成</li> <li>・地域での活動に興味がある女性を対象とした地域交流会の開催</li> </ul> <p>☆女性の活躍及びキャリア形成に関する研修やセミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会や自治会等、政策方針決定の場に参画する意欲のある女性等のための講座の開催</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷職業生活における女性活躍の取組への支援</p>
<p>☆働き方改革や女性の活躍推進に積極的に取り組む企業の認定・表彰等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍の推進等に取り組む「男女生き生き企業（仮称）」認定・表彰制度の創設</li> </ul> <p>☆事業主行動計画の策定・公開に取り組む中小企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内中小企業に対する女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定のためのコンサルティングの実施</li> <li>・女性の活躍に関する研修に従業員を参加させる中小企業に対する助成</li> </ul> <p>○女性の再就職相談や技能習得等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアカウンセラーによる相談等の再就職支援（パーティにおいて開催）や、起業アドバイスを含めたチャレンジショップの実施</li> <li>・女性の再就職やスキルアップを支援するセミナーの開催</li> <li>・再就職を目指す女性向けの職業訓練の実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p><b>ワーク・ライフ・バランスの推進</b></p>
<p>▷ワーク・ライフ・バランスの推進</p>
<p>○社会人や学生など若者がライフデザインを学ぶ機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生等を対象として、ワーク・ライフ・バランスや仕事と子育ての両立を含めたライフデザインを考えるための講座の開催</li> <li>・10代後半～20代の若者を対象とした結婚啓発ライフデザインセミナーの実施</li> <li>・高校生が自分の生き方を主体的に学び考える「じぶん未来学」の推進</li> </ul> <p>○育児・介護休業制度やワーク・ライフ・バランスを推進する各種休暇制度の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者や人事担当者等に対して、イクメンに関する周囲の理解・協力の必要性等を周知するセミナーの開催</li> <li>・働きやすい職場づくりシンポジウムや好事例集の作成によるワーク・ライフ・バランスの普及啓発</li> <li>・メールマガジンや企業訪問による各種制度の周知及び整備促進</li> </ul> <p>○長時間労働の是正や休暇取得の促進等に取り組む企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携した「働き方改革」の実現に向けた要請行動の実施</li> <li>・企業のトップによる仕事と家庭の両立等を応援する宣言の登録及び公表</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷男性の家事・子育て・介護等への参画を促す環境づくりの推進</p>
<p>○男女の性別役割分担意識の払拭に向けた講座やセミナー等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夫婦で参加し、ともに子育てを担う重要性等について学ぶ講座の開催</li> <li>・家事等に関する男性向け講座の開催</li> <li>・父子手帳の作成・配布</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

5 課題（15戦略に関連する課題は☆）

<p><b>あらゆる場面における女性の活躍と参画の促進</b></p>
<p>☆＜県内企業の人材の確保・育成＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県産業の活力を高めるためには、県内外からの人材の確保を進めるとともに、本県の強みを生かした分野や人手不足分野の人材育成を強化する必要があります。</li> </ul>

重点戦略	1 次代を拓く人づくり戦略
プロジェクト	4 感動共有スポーツ推進プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	本県での国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けて、更なる競技力向上を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催等も契機に、県民のスポーツへの興味・関心を高め、誰もがスポーツに親しめる機会と交流の場を広げます。
重点的取組	①スポーツを通じた人づくり ②国体等を見据えた競技力向上

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①スポーツ活動実施率 <small>出典：栃木県「県政世論調査」</small>	目安値	38.8%	40.0%	42.5%	45.0%	47.5%	50.0%
	実績値		43.7% (速報値)				
	達成見込						
成果指標の分析		成人の週1日以上でのスポーツ活動実施率は増加傾向であり、目標達成に向けて概ね順調である。					
成果指標		現状値 H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②国民体育大会の天皇杯順位と得点 <small>出典：(公財)日本体育協会発表</small>	目安値	19位 (1,029点)	10位台 (1,000点以上)	15位以内 (1,200点以上)			10位以内 (1,400点以上)
	実績値						
	達成見込						
成果指標の分析		平成27年の国民体育大会の天皇杯順位と得点は、19位、1,029点となっている。平成28年は、10月の本大会終了時点で決定。					
成果指標		現状値 H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
③県障害者スポーツ大会参加選手数 <small>出典：栃木県保健福祉部集計</small>	目安値	1,772人	1,800人	1,850人	1,900人	1,950人	2,000人
	実績値						
	達成見込						
成果指標の分析		平成27年度の障害者スポーツ大会参加選手数は、1,772人となっている。平成28年度の障害者スポーツ大会は9月25日に開催予定。					
(注) 達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている							

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	35.3%				
やや不満・不満の割合	11.6%				

#### 4 展開方針

スポーツを通じた人づくり	
▷健やかな人づくりの推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての県民が気軽にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とちぎスポーツフェスタ」の充実によるスポーツの裾野の拡大</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの創設・運営支援</li> <li>・障害者スポーツセンターを活用した障害者スポーツについての情報発信と活動機会の提供</li> </ul> </li> <li>○総合スポーツゾーンの整備推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成34年の国体開催や平成32年の東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致等を見据え、総合スポーツゾーンの整備の着実な推進</li> </ul> </li> <li>○スポーツを支えるボランティア等の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツボランティアのリーダー的役割を担う人材の養成</li> <li>・障害者スポーツを様々な面からサポートする障害者スポーツボランティア人材バンクの充実</li> </ul> </li> <li>○オリンピック・パラリンピック教育の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における体育・保健体育の授業等を通じたオリンピック・パラリンピック教育の推進</li> </ul> </li> <li>○東京オリンピック・パラリンピック等キャンプ地誘致の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016リオ大会等、あらゆる機会をとらえたキャンプ地誘致のPR活動</li> <li>・海外競技団体等による本県視察の誘致推進</li> <li>・ホストタウンに関わる取組の推進</li> </ul> </li> <li>○本県開催の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けた機運醸成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報啓発活動の積極的な展開及び国体愛称・スローガンの制定</li> <li>・国体の各競技会の円滑な運営や、国体後も県民スポーツの一層の普及・振興に向けた計画的な競技役員育成</li> <li>・大会を円滑に実施するための運営ボランティアの育成・確保</li> </ul> </li> <li>○県内プロスポーツチーム等との連携によるスポーツの振興               <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちを対象としたスポーツ教室などチームが実施する地域貢献活動への協力</li> <li>・ホームゲームのPR等を通じ、県民が気軽にスポーツに触れることのできる機会の創出</li> </ul> </li> </ul>	など
国体等を見据えた競技力向上	
▷競技力向上	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジュニア選手の発掘及び各年代に応じた選手の育成・強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動能力の高い小・中学生を対象とした選手発掘・育成プログラムの実施</li> <li>・一貫指導体制による選手育成・強化の推進</li> </ul> </li> <li>○指導者の計画的な養成及び資質の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央競技団体が行う指導者講習会等への県内指導者の派遣</li> <li>・各種指導者講習会の開催や、競技団体が実施する指導者講習会への支援</li> </ul> </li> <li>○スポーツ医・科学サポートや競技環境の整備等の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ医・科学サポートの充実</li> <li>・特殊なスポーツ用具の整備など競技環境の整備</li> <li>・国体のための競技施設整備</li> </ul> </li> <li>○障害者スポーツの普及及び選手の育成・強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「拡大期」、「育成期」、「強化期」の期別の状況に応じた選手の育成・強化</li> <li>・指導者の養成・資質向上や指導者間ネットワークの強化等による指導体制の充実・強化</li> <li>・活動の場の確保や選手・指導者が参加・活動しやすい環境づくり等による育成・強化のための環境整備</li> </ul> </li> </ul>	など

#### 5 課題（15戦略に関連する課題は☆）

国体等を見据えた競技力向上	
<第77回国民体育大会のための競技施設整備> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第77回国民体育大会の競技会場となる施設について、中央競技団体の正規視察結果等を踏まえ、必要な整備、改修を進める必要があります。</li> </ul>	

重点戦略	2 強みを生かす成長戦略
プロジェクト	1 とちぎの産業躍進プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	本県の強みである重点5分野（自動車・航空宇宙・医療機器・光・環境産業）など製造業の産業集積を生かした成長と、時代の潮流をとらえた新たな産業の創出、更なる企業立地を促し、本県経済の活性化を図ります。
重点的取組	①ものづくり産業の更なる発展 ②フードバレーとちぎの推進 ③新たな成長産業の創出・育成 ④立地環境を生かした企業誘致の推進

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標値 H31
①製造品出荷額等 出典：経済産業省「工業統計調査」	目安値		82,616億円	83,437億円	84,258億円	85,079億円	85,900億円	86,700億円
	実績値	81,795億円	82,938億円					
	達成見込							
成果指標の分析		「食料品」や「飲料・たばこ」の伸びが、製造品出荷額等全体を牽引し、目標達成に向けて概ね順調である。						
成果指標		現状値 H22-H26	H27	H28 (H28)	H29 (H28-29)	H30 (H28-30)	H31 (H28-31)	目標値 H28-32
②企業立地件数 出典：経済産業省「工場立地動向調査」	目安値	(累計)	—	30件	60件	105件	150件	180件
	実績値	170件	41件					
	達成見込		—					
成果指標の分析		製造業等の立地件数40件に研究所の1件を含めて41件となっており、目標達成に向けて概ね順調である。						
(注) 達成見込の判断		: 概ね順調                     : やや遅れている                     : 遅れている						

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	34.4%				
やや不満・不満の割合	11.1%				

4 展開方針

<b>ものづくり産業の更なる発展</b>
▷ 新たなイノベーションの創出、先端ものづくり産業の人材育成や研究開発等への支援
○ 新技術開発や基盤技術の高度化等への支援によるイノベーションの創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官金のネットワークの連携強化や人材の育成・確保、知的財産活用等によるプロジェクトの創出</li> <li>・ デジタル化に対応したものづくり推進など産業技術センターの技術支援機能の強化</li> <li>・ 大手メーカーとの商談会の開催及び各種大規模専門展示会への出展支援</li> </ul> など

<p>☆航空機産業を中心とした先端ものづくり産業への戦略的な支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の付加価値化に関する研究開発等に対する助成や技術高度化、海外展開等の支援</li> <li>・航空機産業界と技能研修機関等が一体となった「オールとちぎ」による高度人材の育成</li> <li>・新規参入に向けた研修会等の開催及び異業種間連携の促進</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p><b>フードバレーとちぎの推進</b></p>
<p>▷食品関連産業における産官学金連携による意欲的な取組等への支援</p>
<p>○とちぎの食のブランド確立に向けた新製品・新技術の開発や販路開拓への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の農産物を活用した加工食品や機能性成分の活用等による付加価値の高い商品の開発支援</li> <li>・6次産業化の推進に向けた農産加工や商品開発、販路拡大に取り組む生産組織等に対する支援</li> <li>・農産物の輸出に取り組む産地への支援や国際見本市への出展及び出展者に対する支援</li> </ul> <p>☆食品関連産業と農業や観光関連産業等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の代表的な農畜産物を活用した商品の開発及び販路開拓の支援</li> <li>・地域資源生産者とサービス提供者等との連携による新たな商品やサービスの開発等の支援</li> <li>・製造業（食品や農業機械等）や小売業による農業生産へのアプローチ強化</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p><b>新たな成長産業の創出・育成</b></p>
<p>▷成長する新産業・新分野の創出</p>
<p>☆ヘルスケア関連産業やロボット関連産業の創出・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とちぎヘルスケア産業フォーラム」の設立、セミナー・交流会及びフォーラム分科会の開催</li> <li>・「とちぎロボットフォーラム」の設立、講演会・交流会及びフォーラム分科会の開催</li> </ul> <p>☆環境エネルギー産業の成長促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー産業立地促進補助金の創設と、当該制度を活用しての企業誘致の推進</li> <li>・新たな再生可能エネルギー開発を促進するため「地熱発電理解促進事業」や意欲ある事業者に対する支援の実施</li> <li>・県・関係団体等で構成する栃木県リサイクル施設立地促進研究協議会（仮称）の設置と、市町、産業団地内の既立地企業の理解促進によるリサイクル施設の立地の促進</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p><b>立地環境を生かした企業誘致の推進</b></p>
<p>▷企業誘致の推進</p>
<p>☆栃木県企業誘致・県産品販売推進本部等による誘致活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知事のトップセールス等による誘致活動の展開</li> <li>・企業誘致プロジェクトチームやとちぎ企業立地推進戦略会議等による連携した取組</li> <li>・様々なメディアを活用したPR活動の積極的展開と、関係部局や地元市町をはじめ金融機関等関係機関との連携の強化と、一体的な企業誘致活動の展開</li> </ul> <p>☆面積要件の緩和など新規立地企業に対する助成制度の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内産業団地等への企業立地に対する助成（補助対象に製造業の場合1,000㎡以上・物流業の場合1ha以上の土地を追加、対象業種にデータセンターを追加）</li> </ul> <p>☆本県へ本社機能や研究所を移転する企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域再生計画「とちぎ本社機能立地促進プロジェクト」及び栃木県地方活力向上地域における県税の不均一課税に関する条例による誘致の推進</li> <li>・本社機能等の設置に係る賃借料等に対する助成</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷立地企業の定着</p>
<p>☆立地企業の定着に向けた助成制度の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内立地企業の定着促進のための助成（補助対象に大規模生産設備投資を追加、対象業種に物流業を追加等）</li> </ul> <p>☆意見交換や訪問活動を通じた企業との関係性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県工業団地管理連絡協議会等との意見交換会の実施</li> <li>・とちぎパートナーシップ事業による立地企業への訪問活動の展開</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

▷産業団地の提供及び立地環境の向上

☆企業ニーズを踏まえた計画的な産業団地の整備

- ・みぶ羽生田産業団地（壬生町）について、立地企業の円滑な操業開始に向けた、壬生町や関係機関等と緊密に連携した、造成・分譲の推進
- ・あがた駅南産業団地（足利市）及び野木第二工業団地（野木町）について、足利市や野木町、関係機関等と緊密に連携した、早期造成・分譲に向けた取組の展開

○アクセス道路等の整備やスマートIC設置促進

- ・鬼怒川左岸地域における産業拠点の交流と物流の強化を図るため、国道408号バイパスの整備推進
- ・みぶ羽生田産業団地へのアクセス向上と物流強化を図るため、県道羽生田上蒲生線の整備推進
- ・高速道路へのアクセス機能を高めるため、スマートICの設置促進

など



重点戦略	2 強みを生かす成長戦略
プロジェクト	2 とちぎを支える企業応援プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目標	中小・小規模企業の持続的発展や挑戦する企業の取組を支援し、県民の暮らしを支える安定した雇用を創出するとともに、産業を支える人材の確保・育成を図ります。
重点的取組	①中小・小規模企業の持続的発展の促進 ②挑戦する企業への支援 ③就労支援の充実強化 ④多様な産業人材の確保・育成

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標値 H31	
①開業率 <small>出典：厚生労働省「雇用保険事業年報」</small>	目安値		4.8%	5.0%	5.2%	5.4%	5.7%	6.0%	
	実績値	4.6%	4.4%						
	達成見込								
成果指標の分析		関係機関等と連携し開業率の向上に取り組んでいるが、目標達成に向けて遅れが生じている。							
成果指標		現状値 H22-H26	H27	H28 (H28)	H29 (H28-29)	H30 (H28-30)	H31 (H28-31)	目標値 H28-32	
②経営革新計画承認件数 <small>出典：栃木県産業労働観光部集計</small>	目安値	(累計)	—	50件	100件	150件	200件	250件	
	実績値	87件	44件						
	達成見込		—						
成果指標の分析		関係機関と連携し、経営革新計画の作成支援をすることで承認件数が増加しており、目標達成に向けて概ね順調である。							
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32	
③とちぎUIターン就職促進協定締結校における本県への年間就職者数 <small>出典：栃木県産業労働観光部集計</small>	目安値		662人	687人	699人	720人	740人	760人	
	実績値	637人	773人						
	達成見込								
成果指標の分析		就職促進協定締結校も増加し、目標達成に向けて概ね順調である。							
(注) 達成見込の判断			：概ね順調			：やや遅れている			：遅れている

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	32.7%				
やや不満・不満の割合	13.7%				

4 展開方針

**中小・小規模企業の持続的発展の促進**

▷創業から成長、事業承継までの切れ目ない支援

- 関係機関・団体等と連携した中小・小規模企業支援ネットワークの構築
  - ・「とちぎ地域企業応援ネットワーク」の構築による、オール栃木体制での経営力向上支援
  - ・災害時における事業の継続や早期復旧に向けた事業継続計画（BCP）の策定及び事業継続マネジメント（BCM）の取組に対する支援
  - ・とちぎ創生融資（金融機関提案型）や経営発達貸付の創設など、制度融資の拡充による創業や経営基盤の強化等に向けた資金繰り支援
- ☆創業・第二創業、円滑な事業承継による中小・小規模企業の新陳代謝の促進
  - ・創業希望者の熟度に応じた創業塾や創業希望者と既創業者等との交流会等の開催
  - ・栃木県事業引継ぎ支援センターをはじめ、各支援機関等との連携強化による円滑な事業承継への支援
- 商工団体による伴走型支援体制づくりの促進など小規模企業への支援
  - ・経営改善普及事業等に従事する経営指導員等の資質向上に対する支援
  - ・専門家派遣による経営力向上や情報化等の課題に対する指導助言

など

**挑戦する企業への支援**

▷中核的な企業の更なる成長の促進、多彩な地域資源を生かした商品開発、新たな海外展開への支援

- ☆地域中核企業の成長促進
  - ・ニッチトップ企業等を地域中核企業として認定、企業のニーズに応じた専門家等によるタスクフォースを編成した総合的かつ専門的な支援の実施
- ☆経営革新計画の策定・実施やサービス産業の生産性向上など新たな事業展開への支援
  - ・関係機関と連携した経営革新計画作成への支援
  - ・経営革新計画作成後のフォローアップの実施による計画の着実な実行の支援
  - ・県内サービス産業事業者向けのセミナーの開催や個別相談会の実施
- ☆地域資源の活用や異業種間の交流等による新製品・新サービスの開発、販路開拓の促進
  - ・「とちぎならではの」のおもてなしの創出のための取組に対する助成
  - ・伝統工芸品産地組合等が行う新商品・新技術開発、販路開拓などの地域ブランド強化に向けた取組への支援
  - ・伝統工芸品生産者等の後継者育成や従事者確保の支援
- ☆ジェトロ栃木貿易情報センターとの連携等による海外進出や販路開拓への支援
  - ・各種セミナーの開催、T P P 関連情報の発信等
  - ・海外見本市等への県ブース出展、テストマーケティング、バイヤー招聘の実施等による海外展開の支援
  - ・北関東三県で連携したプロモーション事業の実施（一部事業をジェトロへ委託）

など

**就労支援の充実強化**

▷就労支援の充実、人材還流を促す仕組みづくりの推進

- ☆とちぎジョブモール等の就職支援窓口の確保や大学との就職促進協定の締結等による就職支援の充実
  - ・とちぎジョブモール東京サテライトの開設
  - ・首都圏大学等とのU I ターン就職促進協定締結校の拡充
  - ・就職支援担当者向け企業見学会の開催
- ☆産業界との連携による奨学金を活用した大学生等の県内就職の促進
  - ・とちぎ未来人材応援基金（H28.3設置）における、地元産業界からの寄附の受入（H28.3～）や対象者（学生）の募集の開始
- ☆就職活動支援アプリケーションによる県内企業情報など就職関係情報の提供
  - ・「とちまる就活アプリ」の開発及び利用促進
  - ・県内企業を講師とした「とちぎで輝く元気企業」出前講座の開催
  - ・とちぎで働く魅力等の理解促進のためのキャリアガイダンスの開催
- ☆人材不足や後継者不足が懸念される産業分野への就労促進
  - ・人手不足分野（建設・介護・保育など）の人材育成のための職業能力開発の支援

など



## 多様な産業人材の確保・育成

### ▷多様な産業人材の確保・育成の促進

#### ☆経営力強化研修や職業訓練等による人材育成の推進

- ・企業の経営力を強化するための若手・中堅社員向け実務研修の実施
- ・産業技術専門校において本県の基幹産業であるものづくり分野での人材育成の推進
- ・在職者訓練による中小企業在職者のスキルアップ支援

#### ☆事業企画・運営等の実績が豊富なプロフェッショナル人材の活用促進

- ・プロフェッショナル人材戦略拠点において、中小企業の「攻めの経営」への転換とプロフェッショナル人材の活用の促進

#### ○技能五輪全国大会の本県開催を契機とした青年技能者の育成や技能承継

- ・とちぎマイスター等を活用した人材育成や技能継承の推進
- ・とちぎ技能五輪・アビリンピック2017実施計画の策定及び選手層の薄い職種・種目の選手の掘り起こし、新たな支援制度による選手の育成
- ・1年前カウントダウンイベントの開催、各種イベントの活用や関係機関連携による広報・啓発

#### ○国内外で活躍する企業人材の確保・育成の促進

- ・外国人留学生等を対象としたインターンシップ研修に係る補助等の実施によるマッチングの促進
- ・定住外国人等への就労相談等の実施による県内中小企業への雇用の拡大

など

## 5 課題（15戦略に関連する課題は☆）

### 中小・小規模企業の持続的発展の促進

#### ☆<県内企業への経営支援>

- ・中小企業の成長発展と小規模企業の事業の持続的発展を図るため、「栃木県中小企業・小規模企業の振興に関する条例」の趣旨を踏まえ、創業や企業の生産性向上への支援に取り組む必要があります。

### 多様な産業人材の確保・育成

#### ☆<県内企業の人材の確保・育成>（再掲）

- ・本県産業の活力を高めるためには、県内外からの人材の確保を進めるとともに、本県の強みを生かした分野や人手不足分野の人材育成を強化する必要があります。

重点戦略	2 強みを生かす成長戦略
プロジェクト	3 とちぎの農林業成長プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	地理的優位性や農業者の高い技術力など、本県の強みを生かした農業の推進や、豊富な森林資源を生かした異業種連携等により、とちぎ材の利用拡大等を図ることにより、農林業の成長産業化を図ります。
重点的取組	①農林業を支える人材の確保・育成 ②成長産業へ進化する農業の確立 ③林業・木材産業の成長産業化の推進

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①農業産出額 <small>出典：農林水産省「生産農業所得統計」</small>	目安値		2,716億円	2,742億円	2,768億円	2,794億円	2,820億円	2,850億円	2,880億円
	実績値	2,690億円	2,495億円						
	達成見込								
成果指標の分析		園芸や畜産の産出額は増加したものの、米価格の低下により、産出額は減少しており、目標達成に向けて遅れが生じている。							
成果指標		現状値 H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②林業産出額 <small>出典：農林水産省「生産林業所得統計」</small>	目安値		89.6億円	91.7億円	93.8億円	95.9億円	98.0億円	101.5億円	105.0億円
	実績値	87.6億円	90.8億円						
	達成見込								
成果指標の分析		きのこ類生産・薪炭生産は前年同水準であり、また、木材生産額は、素材生産量が減少したが、単価上昇等を要因に微増しており、目標達成に向けて概ね順調である。							
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32	
③青年新規就農者数 <small>出典：栃木県「新規就農者等に関する調査」</small>	目安値		250人	260人	270人	280人	290人	300人	
	実績値	222人	251人						
	達成見込								
成果指標の分析		新規参入者（農家出身者以外）や新規雇用就業者（農業法人等に正規雇用として就農）が増えており、目標達成に向けて概ね順調である。							
成果指標		現状値 H22-26	H27	H28 (H28)	H29 (H28-29)	H30 (H28-30)	H31 (H28-31)	目標値 H28-32	
④林業新規就業者数 <small>出典：栃木県「新規林業就業者に関する調査」</small>	目安値	(累計)	—	40人	80人	120人	163人	208人	
	実績値	183人	40人						
	達成見込		—						
成果指標の分析		KPIの実績値は、目安値に達しているが、離職率が高い傾向にある。							
(注) 達成見込の判断		: 概ね順調     : やや遅れている     : 遅れている							

### 3 満足度調査の結果

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2
満足・やや満足の割合	34.4%				
やや不満・不満の割合	10.0%				

### 4 展開方針

#### 農林業を支える人材の確保・育成

▷県内外・農内外からの新規就農の促進や女性農業者が輝く環境づくりの推進

- 就農相談会の開催や経営が安定するまでのフォローアップ等の実施
  - ・とちぎでいちごを始めようプロジェクトによる就農相談と体験研修の実施
  - ・農業大学校やふるさと回帰センターでの雇用就農相談会の開催
  - ・普及指導員や就農指導協力員による就農後の栽培技術等の指導
  - ・いちごの担い手を育成する大規模生産拠点の育成

- ☆農業施設などの経営資源の円滑な継承に対する支援
  - ・経営資源仲介推進員を設置し、関係機関と連携のもと、遊休経営資源のマッチングの実施
  - ・新規参入者等が継承した栽培施設等のリフォーム支援

など

▷新規就業者の確保・育成の推進や労働環境等の改善

- 林業就業者の労働環境の改善、スキルアップ研修等の実施、定住対策の推進
  - ・林業就業者の確保、育成、定着を推進するための林業情報サイトの開設、林業Grand Prixの開催

- 林業・木材産業への就業希望者に対する支援
  - ・林業・木材産業への就業機会の拡大を図るための高校等のPR訪問、林業基礎トライアル体験、現場見学会の開催、就業相談窓口の設置

など

#### 成長産業へ進化する農業の確立

▷園芸生産の更なる拡大や収益性の高い経営体の育成

- ☆生産性の高い施設園芸の推進及び露地野菜の産地育成の促進
  - ・高度な専門家の派遣を通じたトップレベルの施設園芸経営者の育成
  - ・水田を中心に経営する集落営農組織への園芸作物の導入促進

- 畜産経営の体質強化に向けた自給飼料の増産や家畜の飼養管理技術の向上への支援
  - ・地域の飼料生産を担うコントラクター組織等の新設や機能強化への支援
  - ・飼養管理施設等の整備による家畜生産基盤の強化や効率的な飼養管理技術の確立・普及
  - ・ロボット技術やICTなどの先端技術を活用した飼養管理の効率化及び生産性の向上

- ☆水田経営の低コスト化や省力化に向けた農地の集積・集約化等の促進
  - ・農地中間管理機構を活用した農地集積及び分散農地の集約化
  - ・ICTやセンシング技術などの先端技術を活用した生産性向上の取組の支援
  - ・担い手の規模拡大に必要な機械等の整備支援

など

▷リーディングブランドの認知度向上や県オリジナル品種の開発、6次産業化の取組、農産物輸出の積極的な拡大

- ☆県産農産物のブランド化の推進及び県外に向けた発信力の強化
  - ・地域資源の活用による6次産業化を推進するため、消費者や実需者ニーズを踏まえた商品づくりの支援
  - ・県産農産物の国内外でのブランド力強化や販路拡大の指針となる「とちぎ農産物ブランド化推進戦略」の策定
  - ・県産農産物のブランド化推進に向けた体制整備
  - ・リーディングブランドを中心とした県産農産物全体の戦略的なプロモーションの展開

- 新たな販路開拓に向けた調査や戦略的なプロモーションの展開による輸出の促進
  - ・とちぎ農産物輸出戦略を推進するための促進会議の設置・運営
  - ・新たな販路開拓に向けた輸出環境調査及びテストマーケティングの実施
  - ・輸出先における長期間かつ複数店舗での集中プロモーションの展開
  - ・輸出に取り組む産地の育成・支援

- 新たな食肉センターを核とした県産食肉の生産・流通体制の確立
  - ・輸出対応を踏まえた食肉センター整備への支援
  - ・県産食肉の県内への安定供給に向けた体制整備
  - ・関係機関及び団体との連携・調整

など

### 林業・木材産業の成長産業化の推進

▷とちぎ材の安定的な供給体制の構築やとちぎ材の高付加価値化や用途拡大

- ☆森林所有者への木材取引情報の提供等による施業受託の促進
  - ・素材生産体制を構築し循環型林業を推進するため、所有と経営の分離による新たな森林経営（信託型・買い取り型・ファンド等）の研究、短期的及び長期的な林業経営の収支を算出するシステムの検討
- ☆とちぎ材に係る関係業種間の協定取引の促進
  - ・需給ミスマッチの解消と安定供給取引を推進するための生産供給や需要に関する調査、需給調整システムの構築、異業種間連携によるとちぎ版安定需給体制の構築
- ☆林業センターにおける木材性能評価試験の実施等によるとちぎ材の新たな需要の創造
  - ・科学的根拠を有した新製品開発や多品目化を推進するための林業センターへの新たな性能評価試験機の導入
  - ・販路拡大及びとちぎ材の認知度向上を図るための建築士会等も参画した新たな協議会の設立、マーケティング調査、ブランディング・販売戦略、環境貢献評価システムの構築、官民連携した県内外の製品展示会への出展
- 森林施業の集約化・林内路網整備・高性能林業機械導入等による低コスト林業の確立
  - ・素材生産量の増大及び低コスト林業を実現するための森林経営計画作成促進、皆伐施業の促進、コンテナ苗生産基盤の整備、低コスト路網整備指針の作成、高性能林業機械の導入
- 木質バイオマスの有効活用の研究・検証
  - ・林地残材も含めた森林資源のフル活用推進のための木質バイオマス利用施設の整備、全幹集材等の伐採システムの検討、直材・曲がり材込みの販売方法等の検証

など

## 5 課題（15戦略に関連する課題は☆）

### 成長産業へ進化する農業の確立

- ☆＜県産農産物のブランド力強化＞
  - ・県産農産物の特徴や魅力を最大限引き出す生産・販売・PRなど、総合的なブランド化の取組を戦略的に進める必要があります。

重点戦略	2 強みを生かす成長戦略
プロジェクト	4 観光立県とちぎプロジェクト

1 プロジェクトの概要

目標	東京オリンピック・パラリンピック開催等を好機として、豊富な観光資源や東京圏に近接する強みを最大限に生かし、観光地としての魅力向上や国内外からの観光誘客強化に取り組み、観光産業の更なる発展を図ります。
重点的取組	①魅力と活気ある観光地づくり ②戦略的な観光誘客の推進 ③海外観光誘客の強化

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32	
①観光客入込数 <small>出典：栃木県「栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査」</small>	目安値		8,880万人	9,050万人	9,210万人	9,380万人	9,540万人	9,700万人	
	実績値	8,712万人	9,053万人						
	達成見込		☀️						
成果指標の分析		県、市町、観光関連団体、交通事業者等が一体となった観光プロモーション等の効果により観光客入込数が増加しており、目標達成に向けて概ね順調である。							
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32	
②観光客宿泊数 <small>出典：栃木県「栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査」</small>	目安値		803万人	818万人	833万人	848万人	863万人	880万人	
	実績値	788万人	828万人						
	達成見込		☀️						
成果指標の分析		県、市町、観光関連団体、交通事業者等が一体となった観光プロモーション等の効果により観光客宿泊数が増加しており、目標達成に向けて概ね順調である。							
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32	
③外国人宿泊数 <small>出典：栃木県「栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査」</small>	目安値		17.2万人	19.8万人	22.4万人	25.0万人	27.4万人	30.0万人	
	実績値	14.6万人	18.1万人						
	達成見込		☀️						
成果指標の分析		有望市場である東アジア・東南アジアをはじめ、北米や欧州等からの観光客が増加しており、目標達成に向けて概ね順調である。							
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32	
④観光消費額 <small>出典：観光庁「共通基準による全国観光入込客統計」</small>	目安値		4,777億円	4,870億円	4,963億円	5,056億円	5,150億円	5,240億円	
	実績値	4,684億円	5,132億円						
	達成見込		☀️						
成果指標の分析		県外からの宿泊客数の増加や観光消費額単価の伸び等により、観光消費額が増加しており、目標達成に向けて概ね順調である。							
(注) 達成見込の判断		☀️	☁️	☔️					
		☀️	☁️	☔️	: 概ね順調    : やや遅れている    : 遅れている				



### 3 満足度調査の結果

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2
満足・やや満足の割合	42.4%				
やや不満・不満の割合	12.2%				

### 4 展開方針

#### 魅力と活気ある観光地づくり

▷民間による地域資源の活用やブランド化、滞在性や周遊性の高い旅行商品開発の促進

☆本県の特徴を生かしたDMOの形成支援

- ・ 県域版、地域版のDMO形成に向けた基礎調査等に対する助成

○地域資源の磨き上げ等による新たな魅力の創出や周遊ルートづくり

- ・ 本県の「食・食文化」の魅力発掘・磨き上げ、とちまるショップにおけるテスト販売を通じたテイクアウト商品（県産品）の開発
- ・ 首都圏や中京関西をターゲットにした旅行商品の造成促進、旅行業登録のある事業者が行う地域資源を活用した旅行商品開発に対する助成
- ・ 旅行者のニーズに沿った周遊ルートの提案ができる観光アプリの開発、広域観光周遊ルート形成計画の策定に向けた検討

○地域の観光振興の担い手となる人材の育成

- ・ 栃木ファンクラブサポーターの地域魅力向上・プロモーションに対する支援を通じた観光企画力のスキルアップ

など

▷オールとちぎによる受入態勢の整備等の推進

☆県民一人ひとりの観光客に対するおもてなしの向上

- ・ 県民参加によるおもてなし向上運動の方策の検討
- ・ 市町や観光関係団体が実施するホスピタリティ向上に係る研修等に対する助成

☆案内表示の多言語化、Wi-Fi環境の整備や公衆トイレの洋式化等の推進

- ・ 外国人観光客の利用が見込まれる県有施設等について、トイレの洋式化、道路案内標識や自然公園内の案内標識の多言語化の実施
- ・ 外国人観光客の受入環境整備を推進するため県内5地域に設置した広域連絡会議の取組支援
- ・ 外国人観光客が無料で使用できるWi-Fiアクセスポイントの周知及びID/PASSカードの配布

☆主要駅等と観光地を結ぶ二次交通の利便性向上の促進

- ・ デスティネーションキャンペーン（DC）や外国人観光客の増加を見据えた二次交通利用環境の充実
- ・ 鉄道駅と地域の拠点を結ぶバスネットワークの支援

○観光地へのアクセス向上に資する道路の整備

- ・ 観光地間や、駅、IC等交通拠点を結ぶ広域幹線道路等の整備による観光周遊ルートの強化

など

#### 戦略的な観光誘客の推進

▷大型観光キャンペーン等による集中的な誘客宣伝活動の展開、効果的な観光誘客の推進

○「本物の出会い 栃木」観光キャンペーンの展開

- ・ オール栃木体制によるDCの推進組織の設立・運営
- ・ DCに向けた観光資源の更なる掘り起こしと磨き上げの推進
- ・ DCの効果的な展開の検討

○アンテナショップ等を活用した首都圏等への効果的な情報発信

- ・ とちまるショップにおける観光イベントの実施や大型旅行博への出展等
- ・ 効果的なパンフレットの配布やターゲットに訴求力のある多様な媒体の活用
- ・ とちまるショップにおける各市町の特徴を生かした物産フェアの開催、コンシェルジュ設置による広報宣伝

など

## 海外観光誘客の強化

### ▷海外からの観光誘客の強化

#### ☆海外の観光誘客拠点等による有望市場からの誘客推進

- ・台湾観光誘客拠点を活用した誘客促進
- ・ターゲットの特性や嗜好を捉えた効果的なプロモーションの展開
- ①国内外旅行博出展：台湾・中国・タイ
- ②旅行エージェント招請：台湾・タイ・インドネシア

#### ☆海外メディアやインターネット等による効果的な情報発信

- ・観光情報を発信するSNSの構築や、「とちぎ旅ネット」の多言語化、外国語パンフレットの充実
- ・メディア招請事業・広告掲載事業による旅行の需要喚起（韓国・中国・香港・ベトナム）
- ・在日外国人ブLOGGER招請事業によるSNSでの情報発信

#### ○関東近県等との広域連携によるプロモーション

- ・茨城県、群馬県を始めとする関東近県等との連携による海外旅行博への出展等
- ①関東観光広域連携事業推進協議会
- ②北関東三県広域観光推進協議会（台湾・中国）
- ③栃木・南東北国際観光テーマ地区推進協議会（タイ）
- ④北関東磐越広域観光推進協議会（中国）

など

## 5 課題（15戦略に関連する課題は☆）

### 魅力と活気ある観光地づくり、戦略的な観光誘客の推進、海外観光誘客の強化

#### ☆＜DCの積極的な推進＞

- ・東京オリンピック・パラリンピックを見据えながら、平成30年のデスティネーションキャンペーン（DC）を最大の好機ととらえ、DCの成功はもとより、DC後も多くの観光客から“選ばれる”ワンランク上の観光地づくりに取り組む必要があります。

重点戦略	3 暮らし安心健康戦略
プロジェクト	1 健康長寿とちぎづくりプロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	県民一人ひとりが、どの地域に住んでいても、心身ともに健やかに歳を重ねていくことのできる環境をつくります。
重点的取組	①県民の健康づくりの推進 ②疾病の早期発見・早期治療の促進 ③高齢者が活躍できる地域づくり

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①健康長寿高齢者の割合 出典：栃木県保健福祉部集計	目安値		91.0%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%
	実績値	91.0%	91.2%						
	達成見込	☀️							
成果指標の分析		目安値（平成25年値）を上回っており、目標達成に向けて概ね順調である。							
成果指標		現状値 H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②三大死因（がん・心臓病・脳卒中）による死者数（人口10万人当たり） 出典：栃木県保健福祉部集計	目安値		222.1人	219.7人	217.4人	215.0人	212.7人	210.3人	208.0人
	実績値	224.4人	222.6人						
	達成見込	☹️							
成果指標の分析		がん、脳卒中の死者数は減少しているが、目安値（平成25年値）を下回っており、目標達成に向けてやや遅れが生じている。							
(注) 達成見込の判断 ☀️ : 概ね順調 ☹️ : やや遅れている ☔ : 遅れている									

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	34.5%				
やや不満・不満の割合	12.7%				

4 展開方針

<b>県民の健康づくりの推進</b>	
▷心身ともに健やかに歳を重ねていくことのできる地域社会の実現に向けた取組に関する社会的気運の醸成	
☆生活習慣等に関するデータを活用した健康づくりの推進 ・県や市町の健康づくりに活用するための健康に関する各種データの「見える化」 ・市町村国保のKDBのデータ等を活用した取組への支援	
☆ロコモティブシンドロームなどの予防の推進 ・ロコモティブシンドロームの普及啓発等を行うロコモアドバイザーの養成・活動支援	
	など



<p>▷子どもたちの基本的な生活習慣や食習慣、運動習慣の定着促進</p>
<p>☆家庭向け啓発資材等の活用による規則正しい生活習慣や食習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校等への健康づくり専門家の派遣・家庭向け啓発資料の配付</li> <li>・地域における食育・健康づくりを推進するための家族ワークショップ、講習会等の開催</li> <li>・「学校・家庭・地域で育む健康教育の手引き」の作成・配布及び学校給食を活用した食育推進事業等の実施</li> </ul> <p>☆子どものスポーツ活動を通じた運動習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とちぎ元気キッズ育成事業」の充実</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷生活習慣の改善に取り組みやすい社会環境づくりや心の健康づくりの推進</p>
<p>☆とちぎ健康づくりロード等の身体活動・運動を行いやすい環境づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングコース「とちぎ健康づくりロード」の登録拡大と利用促進</li> </ul> <p>☆ヘルシーグルメ推進店制度や禁煙・分煙推進店制度等の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とちぎのヘルシーグルメ推進店」「とちぎ禁煙・分煙推進店」の登録拡大と認知度の向上</li> <li>・健康づくりの専用サイト「健康長寿とちぎWEB」による健康づくり情報の発信</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p><b>疾病の早期発見・早期治療の促進</b></p>
<p>▷疾病の早期発見・早期治療の促進</p>
<p>☆市町や医療保険者等と連携した、がん検診や特定健康診査・特定保健指導等の受診率の向上等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診・特定保健指導従事者への研修会の実施</li> <li>・がん登録データを活用したがん検診の精度管理支援</li> <li>・市町の糖尿病重症化予防の取組への支援</li> </ul> <p>○障害者や要介護高齢者等への歯科保健医療サービスの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎ歯の健康センターや障害者高次歯科医療機関、協力医の連携による障害者の歯科検診・医療の受診機会の確保</li> <li>・在宅歯科医療連携室を核とした在宅歯科検診・医療の支援</li> <li>・こどものむし歯予防対策の強化</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p><b>高齢者が活躍できる地域づくり</b></p>
<p>▷高齢者の社会参加を促進する仕組みづくり</p>
<p>○とちぎ生涯現役シニア応援センター（ぷらっと）を通じた就労や社会貢献活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯現役推進員等による総合相談や出張相談会等の実施</li> <li>・とちぎ生涯現役シニア応援サイトによる情報の一元的提供</li> <li>・シニアセミナーの開催</li> </ul> <p>○高齢者の学び直しなど生涯学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー大学校における社会参加のきっかけづくりと人材の養成</li> <li>・ねんりんピックとちぎの開催や全国健康福祉祭への派遣</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

重点戦略	3 暮らし安心健康戦略
プロジェクト	2 安心の医療・介護確保推進プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目標	地域の実情に応じて、県民誰もが住み慣れた地域において、安心して暮らすことができるよう、医療や介護、日常生活の支援などが包括的に提供される環境をつくります。
重点的取組	①地域包括ケアシステム構築の推進 ②安心の地域医療提供体制の整備推進

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①訪問看護事業所の訪問看護師数（人口10万人当たり） 出典：栃木県保健福祉部集計	目安値		17.9人	19.2人	20.6人	22.0人	23.4人	24.6人
	実績値	17.4人	21.1人					
	達成見込		☀️					
成果指標の分析		訪問看護事業所の訪問看護師数は増加しており、目標達成に向けて概ね順調である。						
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②特別養護老人ホーム等の定員数（介護を必要とする高齢者1万人当たり） 出典：栃木県保健福祉部集計	目安値		2,801人	2,992人	3,149人	3,283人	3,400人	3,500人
	実績値	2,701人	2,848人					
	達成見込		☀️					
成果指標の分析		「はつらつプラン21（六期計画）」等に基づく施設整備の促進により、特別養護老人ホーム等の定員数が増加し、目標達成に向けて概ね順調である。						
(注) 達成見込の判断 ☀️ : 概ね順調 ☹️ : やや遅れている 🌧️ : 遅れている								

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	34.3%				
やや不満・不満の割合	17.0%				

4 展開方針

<b>地域包括ケアシステム構築の推進</b>
▷在宅医療サービスの基盤整備の推進と多職種連携体制の構築
☆在宅療養支援診療所や訪問看護ステーションの整備促進 ・訪問診療の実績がある在宅療養支援診療所の整備促進の支援 ・新設又は機能強化を図る訪問看護ステーションの設備整備の支援  ☆訪問看護師等の人材の養成・確保 ・訪問看護ステーション向けの訪問看護師育成・定着等に関する相談の実施や勉強会の開催 ・薬剤師への在宅医療に関するフィジカルアセスメント研修の実施 ・未就業看護職員や薬剤師の復職支援のための研修会の実施
など

<p>▷介護サービスの充実</p> <p>☆在宅介護サービスや施設サービスの基盤整備の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町との連携による「はつらつプラン21（六期計画）」に基づく特別養護老人ホーム等の整備</li> <li>・国が掲げる「介護離職ゼロ」の実現に向けた在宅・施設サービス等の前倒し・上乘せ整備の促進</li> </ul> <p>☆介護を支える人材の養成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護人材確保等のため、介護関連団体・関係機関等が連携して取組を推進する組織の設置</li> <li>・地域包括支援センター職員や介護支援専門員を対象とした初任者、現任者及び医療的知識向上研修の実施</li> <li>・リハビリテーション専門職を対象とした介護予防リハビリテーション専門職等研修の実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷多様な住まい・住まい方の確保の推進</p> <p>☆サービス付き高齢者向け住宅等の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の心身の状況・ニーズに対応した設備や質の高いサービスを備えたサービス付き高齢者向け住宅及び有料老人ホームの確保</li> <li>・サービス付き高齢者向け住宅等について、比較的介護度が低い高齢者のニーズに対応するため、介護保険の適用となる「特定施設入居者生活介護事業所」への指定促進</li> <li>・「栃木県高齢者居住安定確保計画」に基づくサービス付き高齢者向け住宅の計画的な供給の促進</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷多様な担い手による生活支援の充実</p> <p>☆見守りネットワークの構築などの地域における支え合い体制づくりの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町職員や地域包括支援センター職員を対象とした地域支え合い体制づくりセミナーの実施</li> <li>・地域ケア会議への医師等の専門職及び運営に関する助言を行う広域支援員の派遣</li> <li>・生活支援コーディネーターの養成及び協議体等への助言を行うアドバイザーの派遣</li> </ul> <p>☆地域の実情に応じた公共交通等の維持・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な生活交通を確保するための民間バス事業者及び市町への支援</li> <li>・効果的・効率的な生活交通の再構築を図る市町への支援</li> <li>・地域共助型生活交通システムの導入への支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷認知症になっても、住み慣れた地域において、暮らし続けることができる環境づくりの推進</p> <p>○認知症に対する正しい理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター、キャラバンメイト養成講座の実施</li> <li>・認知症フォーラムの開催</li> <li>・認知症電話相談の実施</li> </ul> <p>☆認知症の早期発見・早期対応のための体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症疾患医療センターの設置・拡充、物忘れ・認知症相談医（とちぎオレンジドクター）制度の創設、初期集中支援チーム設置に向けた支援等による認知症医療連携体制の構築</li> <li>・若年性認知症支援コーディネーターの設置</li> <li>・歯科医師・薬剤師等向け認知症対応力向上研修の実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p><b>安心の地域医療提供体制の整備促進</b></p>
<p>▷医師・看護師などの医療従事者の確保・定着、医療需要に沿った地域医療提供体制の整備促進</p> <p>○キャリア形成等を通じた医師の確保・定着促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師修学資金や医学部栃木県地域枠による医師確保</li> <li>・説明会、メールマガジン、研修費用助成等による臨床研修医の確保、若手医師への支援</li> <li>・とちぎ医療勤務環境改善支援センター等による女性医師の就労や医療勤務環境の改善への支援</li> </ul> <p>○医療需要に応じた病床の機能分化と連携に取り組む医療機関への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回復期病床等の整備及び地域連携促進等への助成</li> <li>・県民に各医療機能の正しい理解、適切な医療機関及びサービスの選択手法等の普及啓発</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

重点戦略	3 暮らし安心健康戦略
プロジェクト	3 共生社会実現プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	障害の有無等に関わらず、誰もが互いを尊重しながら、社会の担い手として活躍するとともに、住み慣れた地域において、共に支え合いながら暮らし続けることができる環境をつくります。
重点的取組	①障害者が安心して暮らせる環境づくりの推進 ②ノーマライゼーションの推進

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①障害者の雇用率 <small>出典：厚生労働省「障害者の雇用状況について」</small>	目安値		1.81%	1.86%	1.91%	1.96%	2.00%	2.06%
	実績値	1.76%	1.82%					
	達成見込		☀️					
成果指標の分析	企業等と連携し、障害者雇用率向上に取り組んでおり、目標達成に向けて概ね順調である。							
(注) 達成見込の判断 ☀️ : 概ね順調 ☹️ : やや遅れている ☔ : 遅れている								

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	28.3%				
やや不満・不満の割合	13.7%				

4 展開方針

<b>障害者が安心して暮らせる環境づくりの推進</b>	
▷障害者差別の解消の推進	
○障害や障害者に関する理解の促進 ・リーフレットの作成・配布やシンポジウムの開催等による普及啓発、理解促進 ・専任相談員の設置による差別解消の効果的な推進	
○合理的配慮の浸透・定着 ・県民が適切に対応するために必要な指針（障害者差別対応指針）の策定・公表 ・障害者差別解消推進委員会における事例の共有等を通じた合理的配慮等の普及	など
▷地域において健やかに安心して暮らすことができる基盤づくりの推進	
○グループホームや日中活動・居宅サービスの確保・充実 ・県障害福祉計画（第四期計画）に基づく計画的なグループホーム等の整備の推進	
○地域において障害者の生活を支える相談支援体制の確保 ・障害者の地域生活への移行・定着のための相談支援の拠点整備 ・障害者の生活を支える地域における相談支援ネットワークの構築 ・相談支援専門員の資質向上	など

▷就労支援の充実
<p>☆障害者の適性や能力に応じた就労機会等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者就業・生活支援事業、一般就労移行スキルアップ事業の実施による一般就労の促進</li> <li>・ とちぎナイスハート♥プラン（2015～2017）〔障害者工賃向上計画（第三期）〕に基づく福祉的就労の充実</li> <li>・ 障害者合同就職面接会の開催や、就業体験の機会を提供する障害者就業体験事業の実施</li> </ul> <p>○全国障害者技能競技大会の本県開催を契機とした障害者雇用の理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第15回とちぎアビリンピックの開催</li> <li>・ 第37回全国アビリンピック（とちぎ技能五輪・アビリンピック2017）の開催</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<b>ノーマライゼーションの推進</b>
▷地域福祉の総合的推進
<p>○児童養護施設等を退所した児童への自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とちぎユースアフターケア事業協同組合の安定的な運営と事業の拡充</li> <li>・ 退所児童等の安定的な社会的自立に向けた大学等への進学のための支援や、就労意欲の醸成及び就労継続のための必要な支援の実施</li> </ul> <p>○多様な主体による地域福祉活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民、行政、民間福祉サービス事業者等を対象にした小地域福祉活動推進セミナーの開催</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
▷ユニバーサルデザインのまちづくりの推進
<p>○公共施設等のバリアフリー化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設等における点字表示の拡大や、統一的なピクトグラムの運用及び普及啓発</li> <li>・ 路線バスのノンステップバス導入に係る国や市町と連携したバス事業者等の支援</li> <li>・ 鉄道駅や公共施設等の周辺における道路のバリアフリー化の推進</li> </ul> <p>○障害者等のコミュニケーション手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTを活用したコミュニケーション手段の充実</li> <li>・ とちぎ視聴覚障害者情報センターの機能強化</li> <li>・ 手話通訳者、要約筆記者、点訳奉仕員、音訳奉仕員、盲ろう者向け通訳・介助員の養成</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

5 課題（15戦略に関連する課題は☆）

<b>障害者が安心して暮らせる環境づくりの推進</b>
<p>☆＜県内企業の人材の確保・育成＞（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県産業の活力を高めるためには、県内外からの人材の確保を進めるとともに、本県の強みを生かした分野や人手不足分野の人材育成を強化する必要があります。</li> </ul>

重点戦略	3 暮らし安心健康戦略
プロジェクト	4 暮らしの安心実現プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	日々の暮らしを安心して送ることができるよう、交通事故や犯罪などの危険から県民を守るとともに、消費生活の安全・安心の確保を図ります。
重点的取組	①交通事故抑止対策の推進 ②犯罪を発生させない安全な地域づくり ③消費生活における安全・安心の確保

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①交通事故死者数	目安値		90人	90人	90人	90人	90人	90人
	実績値	102人	98人					
	達成見込							
出典：栃木県警察本部集計								
成果指標の分析		交通事故死者に占める高齢者の割合が6割を超えるなど課題もあり、目標達成に向けて遅れが生じている。						
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②刑法犯認知件数	目安値		15,950件	15,560件	15,170件	14,780件	14,390件	14,000件
	実績値	16,345件	14,630件					
	達成見込							
出典：栃木県警察本部集計								
成果指標の分析		地域住民をはじめ、関係機関、団体等と連携した犯罪抑止対策の推進により、犯罪の発生件数は減少しており、目標達成に向けて概ね順調である。						
(注) 達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている								

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	32.1%				
やや不満・不満の割合	13.4%				

4 展開方針

<b>交通事故抑止対策の推進</b>
▷関係機関・団体と連携した交通事故抑止対策の推進
○子どもや高齢者を対象とした参加・体験型交通安全教育の推進 ・高齢者のライフスタイルに応じた安全指導等新たな交通安全教育の推進 ・子どもや高齢者に分かりやすい参加・体験型の交通安全教室の実施



<p>○悪質・危険運転者対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の交通実態や交通事故発生状況等の分析に基づいた交通指導取締りの実施</li> <li>・飲酒・無免許運転、著しい速度超過など死亡事故に直結する交通違反の検挙</li> </ul>	など
▷登下校時の事故を防ぐ環境づくりの推進	
<p>○通学路の歩道整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童等の安全確保のための通学路の歩道整備や路肩のカラー舗装化等の推進</li> </ul>	など
<b>犯罪を発生させない安全な地域づくり</b>	
▷犯罪の未然防止等により安心して暮らせる地域づくりの推進	
<p>○県民の防犯意識の高揚と自主防犯活動への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全情報メールやiFAX等によるタイムリーな各種情報の発信</li> <li>・警察官を派遣しての防犯講習、防犯ボランティア団体等との合同パトロールの実施</li> <li>・防犯功労者・団体等に対する表彰の実施</li> </ul> <p>○地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや女性の被害防止のための下校時・夜間を中心としたパトロール活動等の実施</li> <li>・高齢者を主な対象とした特殊詐欺被害防止対策の推進</li> <li>・歓楽街等における各種取締りや官民合同によるパトロール等の実施</li> </ul> <p>○犯罪被害者等の支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2次栃木県犯罪被害者等支援基本計画」に基づく各種支援施策の推進</li> <li>・中・高校生等を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」の開催</li> <li>・犯罪被害者等に対する支援活動に関する広報啓発活動の推進</li> </ul>	など
<b>消費生活における安全・安心の確保</b>	
▷消費者教育・啓発や相談機能の充実	
<p>○消費者教育の充実と消費者被害防止の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座「くらしのセミナー」等の活用による子どもから高齢者までの各ライフステージに対応した体系的な消費者教育・啓発の実施</li> <li>・県消費生活相談員の派遣など、市町消費生活センターへの支援や県消費生活センターの機能強化による相談体制の充実</li> </ul>	など
▷食に関する安全・安心の確保	
<p>○イベント等を活用した食の安全・安心に関する正しい知識の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等の様々な機会を活用しての消費者及び事業者に対する食品表示制度に関する正しい知識の普及・啓発</li> <li>・食品安全フォーラム等によるリスクコミュニケーションの効果的な推進</li> <li>・小・中学生を対象とした食品安全教室の開催及び各種広報媒体を活用した食品安全情報の発信</li> </ul> <p>○HACCPによる衛生管理等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生講習会等を通しての食品事業者に対するHACCPによる衛生管理の普及啓発</li> <li>・HACCP導入支援セミナー及びHACCP技術研修会を通しての食品事業者のHACCP導入促進</li> <li>・栃木県食品自主衛生管理認証制度（とちぎハサップ）の普及啓発による認証取得の促進</li> </ul>	など

重点戦略	4 快適実感安全戦略
プロジェクト	1 災害に強いとちぎの基盤づくりプロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	東日本大震災や平成27年9月関東・東北豪雨による災害等を踏まえ、大規模な自然災害等の発生に備え、ハード・ソフトの両面からの防災・減災対策や社会資本等の老朽化対策等を推進することにより、災害に強い「とちぎ」をつくり、安全で快適な県民生活と産業活動を支えます。
重点的取組	①災害から県民を守る強靱な地域づくり ②社会資本等の老朽化対策の推進

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①防災訓練の参加率 <small>出典：栃木県「県政世論調査」</small>	目安値		25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%
	実績値	22.0%	-	32.2% (速報値)				
	達成見込		-					
成果指標の分析		啓発事業の実施等により参加率が上昇しており、目標達成に向けて概ね順調である。						
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②大規模建築物等の耐震化率 <small>出典：県土整備部集計</small>	目安値		73.9%	78.1%	82.3%	86.5%	90.8%	95.0%
	実績値	69.7%	79.0%					
	達成見込							
成果指標の分析		小中学校の耐震化等が進み、目標達成に向けて概ね順調である。						
(注) 達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている								

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	38.5%				
やや不満・不満の割合	16.4%				

4 展開方針

<b>災害から県民を守る強靱な地域づくり</b>
▷地域における防災活動の促進
○多様な主体に対する防災意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会や出前講座の実施による県民の防災意識の高揚促進</li> <li>・事業所や大学等、様々な主体との協働による地域防災力の向上</li> <li>・危機管理・防災ポータルサイトの充実や各種メディアを通じた普及啓発の実施</li> </ul>






<p>○自主防災活動への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災組織リーダー研修会の開催</li> <li>・ 自主防災組織の充実強化に係る費用の助成</li> <li>・ 自主防災組織の設立等を支援するための有識者派遣</li> </ul> <p>○消防団員の確保などの担い手育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団の活性化に係る費用の助成</li> <li>・ 消防団が自主防災組織等の教育訓練を行うための指導者養成研修</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷防災・危機管理体制等の充実・強化や各種社会資本の防災・減災対策の推進</p>
<p>○防災訓練の充実や防災情報の発信、避難体制の整備等による危機管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践的な防災訓練や各種研修会の実施による危機管理体制の整備及び市町への支援</li> <li>・ 災害の状況に応じた適切なツールによる情報発信の充実</li> <li>・ 関係機関との協定など連携強化による応急対応の充実</li> </ul> <p>○災害派遣医療チーム（DMAT）をはじめとする災害時の医療提供体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害拠点病院の機能強化及びDMAT指定病院の整備</li> <li>・ 栃木県DMAT（LDMAT）養成研修の実施</li> <li>・ 栃木県災害医療コーディネーター研修の実施</li> </ul> <p>○ハード・ソフトの両面からの防災・減災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早急な復旧・復興を支える道路の防災対策や橋梁の耐震化の推進</li> <li>・ 防災・減災対策に資する河川や砂防施設等の整備の推進</li> <li>・ 浸水想定区域図の作成や土砂災害警戒区域の指定等による警戒避難体制の強化の推進</li> </ul> <p>○道の駅の防災拠点化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太陽光発電及び蓄電池の設置</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷多数の県民が利用する大規模建築物等の耐震化の促進</p>
<p>○耐震診断が義務付けられた多数の者が利用する民間大規模建築物等の耐震化への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定建築物等耐震改修助成事業による学校、旅館・ホテル、病院に対する耐震化の支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p><b>社会資本等の老朽化対策の推進</b></p>
<p>▷計画的な維持管理・更新</p>
<p>○公共施設等総合管理計画の策定・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木県公共施設等総合管理基本方針（仮称）の策定</li> </ul> <p>○社会資本等の適正な維持管理と計画的な修繕・更新による長寿命化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木県公共施設等総合管理基本方針（仮称）に基づく各種施設の長寿命化修繕計画の策定</li> <li>・ 効果的な維持管理に向けた点検及び計画的な修繕・更新の実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

重点戦略	4 快適実感安全戦略
プロジェクト	2 暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	人口減少、少子高齢化が進行する中、持続可能で誰もが暮らしやすいコンパクトな「まち」づくりの推進や市町間の広域連携の促進等による都市や中山間地域の活性化を図ります。
重点的取組	①コンパクトな「まち」づくり ②公共交通の維持・確保

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①小さな拠点等取組件数 出典：栃木県総合政策部集計	目安値	—	—	5件	10件	15件	20件	25件
	実績値		—					
	達成見込		—					
成果指標の分析		市町への更なる支援を実施していく。						
成果指標		現状値 H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標値 H31
②鉄道・バス等の利用者数 出典：栃木県県土整備部集計	目安値	23.0 万人/日	23.0 万人/日	23.0 万人/日	23.0 万人/日	23.0 万人/日	23.0 万人/日	23.0 万人/日
	実績値							
	達成見込							
成果指標の分析		公共交通サービスの維持充実を図るため、公共交通事業者に対する運行支援などの取組を実施していく。(11月公表予定)						
(注) 達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている								

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	29.3%				
やや不満・不満の割合	18.5%				

4 展開方針

<b>コンパクトな「まち」づくり</b>	
▷コンパクトな拠点やネットワークの形成、都市機能や中山間地域における集落機能の維持	
☆中心市街地の活性化やコンパクトな「まち」づくりの促進 ・栃木県まちなか元気会議の活動を通じた関係市町等の取組支援 ・集約型都市構造を実現するための市町による立地適正化計画の策定への支援  ☆集落機能等を維持する「小さな拠点」形成に取り組む市町への支援 ・小さな拠点づくり支援事業によるハード・ソフト両面での補助 ・庁内関係各課による連絡会議の設置	
	など

▷定住自立圏等の形成

- ☆「定住自立圏」や「連携中枢都市圏」の形成に取り組む市町に対する助言等
- ・これから取り組む市町や、既存の定住自立圏の運営に対する助言等の支援実施

など

**公共交通の維持・確保**

▷地域の実情に応じた公共交通の維持・確保

- ☆広域的な公共交通ネットワークの改善の促進
  - ・鉄道やバス等を効率的に組み合わせた公共交通ネットワーク構築の推進
- ☆生活交通の改善・見直しに取り組む民間バス事業者や市町への支援
  - ・持続可能な生活交通を確保するための民間バス事業者及び市町への支援
  - ・効果的・効率的な生活交通の再構築を図る市町の取組への支援
- ☆市町の地域共助型生活交通システム導入の促進
  - ・地域共助型生活交通システムの導入への支援

など

重点戦略	4 快適実感安全戦略
プロジェクト	3 持続可能なエネルギー社会実現プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目標	地域資源を生かした再生可能エネルギーの利活用や分散型エネルギーの導入等を促進することにより、エネルギー自給率の向上を図り、安全で持続可能なエネルギーへの転換を促進します。
重点的取組	①環境にやさしい低炭素社会の構築 ②新たなエネルギーの需給体制の構築

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①電力自給率 <small>出典：県環境森林部調べ</small>	目安値		18.7%	19.1%	19.5%	19.9%	20.3%	20.6%	21.8%	43.0%
	実績値	18.0%	20.0%							
	達成見込		☀️							
成果指標の分析	東日本大震災後の省エネ意識の定着や、企業等による発電設備の設置により、目標達成に向けて概ね順調である。									
(注) 達成見込の判断 ☀️ : 概ね順調 ☹️ : やや遅れている ☔ : 遅れている										

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	25.2%				
やや不満・不満の割合	16.0%				

4 展開方針

環境にやさしい低炭素社会の構築	
▷再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの促進、関連技術・産業の振興	
○太陽光、中小水力、バイオマス、温泉、地熱等の再生可能エネルギーの利活用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町への導入検討支援による地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入促進</li> <li>・地熱発電有望地域における地熱発電への理解促進</li> <li>・再生可能エネルギー表彰制度の創設</li> <li>・水力発電推進のための新規水力発電所（大下沢、五十里、小百川）建設の着実な推進や固定価格買取制度や発電コスト低減等に資する新技術を活用した新規開発の事業化に向けた検討</li> <li>・小水力等のエネルギーを農業用ハウスや電動農作業機器に活用するモデル地区の支援</li> </ul>
○低炭素型給湯設備や省エネ家電等、エネルギー効率の高い設備・家電の導入促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内に事業所を有する中小事業者の設備更新への助成</li> <li>・県内の工場や事務所への省エネアドバイザー派遣による省CO2設備の導入等への支援</li> </ul>
○県有施設の省エネルギー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入効果の高い施設からエネルギー効率の高い機器等への導入の推進</li> </ul>
○電気や水素等を燃料とする次世代自動車への転換及び急速充電スタンド等エネルギー供給施設の導入促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FCV普及促進協議会の設立・開催によるFCVの普及・促進</li> <li>・電気自動車等の着実な普及に向けた新プランの策定と、新たな充電インフラ整備ビジョンの策定及びこれに基づく充電器設備の設置促進</li> <li>・電気事業の地域振興積立金を活用した、EV・PHV自動車率先導入支援 など</li> </ul>

## 新たなエネルギーの需給体制の構築

### ▷分散型エネルギーの導入拡大による新たなエネルギー需給体制の構築

#### ○コージェネレーションシステムの導入促進

- ・県立温水プール館におけるコージェネレーション設備の運用と民間事業者における導入検討への支援

#### ○スマートコミュニティの構築促進

- ・スマートコミュニティ候補地での事業化に向けた取組へのサポート

#### ○内陸部に設置可能な発電所の設置促進

- ・エネルギー産業立地促進補助金の創設による企業誘致の推進

#### ○中小水力発電施設の新規開発促進

- ・「とちぎ小水力発電！基礎データマップ」の運用と河川の発電有望地点における水力発電事業者の事業化の支援

など

重点戦略	5 誇れる地域づくり戦略
プロジェクト	1 魅力あるとちぎの地域づくりプロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	県民協働のもと、多様な主体が参加する地域づくりを推進し、にぎわいの創出やコミュニティの再生を図るとともに、本県への移住希望や若者の定着を実現できる環境をつくり、住みたいとちぎを創出します。
重点的取組	①多様な主体との協働や連携・交流による地域づくり ②住みたい、住み続けたい地域づくり

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①地域づくり団体数 <small>出典：総合政策部集計</small>	目安値		95団体	100団体	105団体	110団体	115団体	123団体
	実績値	93団体	96団体					
	達成見込							
成果指標の分析		地域づくり団体育成事業により地域づくりの機運が高まったことに加え、わがまち協働推進事業において地域づくり団体の活動を支援したことから、団体数は増加しており、目標達成に向けて概ね順調である。						
成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②本県への年間移住者数 <small>出典：総合政策部集計</small>	目安値		250人	400人	550人	700人	850人	1,000人
	実績値	—	728人					
	達成見込							
成果指標の分析		市町の居住移転窓口等において実施した任意のアンケートで確認できた移住者数は目標値を上回っており、目標達成に向けて概ね順調である。						
(注) 達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている								

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	28.3%				
やや不満・不満の割合	14.4%				

4 展開方針

<b>多様な主体との協働や連携・交流による地域づくり</b>
▷地域課題への対応、地域の可能性やニーズを反映した特色ある地域づくり
☆地域住民が主体となったコミュニティ活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・わがまち未来創造事業の実施</li> <li>・地域づくり担い手育成事業の実施</li> <li>・地域における協働事業の成果等を共有し、様々な主体相互の交流を図るための「とちぎ協働推進大会」の開催</li> <li>・市町が実施する女性の社会貢献活動の促進や協働に関する意見交換会等への支援</li> </ul>

<p>☆農産物直売所等への新たな機能付加による地域ニーズへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の集荷や宅配などのシステム構築など、地域のニーズに対応した農産物直売所等の交流拠点施設の機能強化</li> </ul> <p>○地域づくりの核となる人材やまちづくり団体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり担い手育成事業の実施</li> <li>・NPO等を対象としたマネジメント能力強化研修や財政基盤強化のための融資の実施</li> <li>・地域において協働による取り組みをけん引する「地域協働推進員」の養成</li> <li>・県コミュニティ協会との連携による地域団体のリーダーの育成</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷交流人口の拡大</p>
<p>☆スポーツイベントなど複数の市町が連携して取り組む地域活性化への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29、30年の2年間で県内全市町を巡る国際公認サイクルロードレース「ツール・ド・とちぎ」の開催</li> </ul> <p>☆農林業体験など地域資源を活用した都市農村交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域組織が行う農業体験や農村資源を活用したイベント等、本県農村への誘客促進活動の支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p><b>住みたい、住み続けたい地域づくり</b></p>
<p>▷県内高校・大学等と地域等が連携した取組への支援</p>
<p>☆地域課題解決に向けた高校・大学等と地域・企業等との連携・協働の取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門高校における地元自治体や企業との連携協定の締結</li> <li>・若者の早期離職等の解消に向けた企業経営者と教員との情報交換会の開催</li> <li>・大学・地域連携プロジェクト支援事業の実施</li> <li>・協働による地域づくり実践者と高校・大学生等とのワークショップ等の開催</li> <li>・中学生を対象とした社会貢献・協働活動の理解促進教材の作成及び出前事業の実施</li> <li>・若者の地域活動参加を促進するボランティア体験事業の実施</li> </ul> <p>☆宇都宮大学が取り組む「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域理解のための講義への講師派遣・講師紹介</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>▷とちぎの魅力や暮らし等に関する情報発信と様々な主体と連携した相談・受入体制の充実</p>
<p>☆とちぎ暮らしの魅力発信や市町と連携した一元的な空き家情報など移住に関する情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・UIターン者の魅力的なライフスタイルや、県内の空き家情報等の移住支援策を提供する専用サイト「ベリーマッチとちぎ」の効果的な運用</li> </ul> <p>☆暮らしや仕事に関する東京都内のワンストップ相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都内における移住と仕事のワンストップ相談窓口「とちぎ暮らし・しごと支援センター」の開設（既存窓口にジョブモール東京サテライトを併設）</li> </ul> <p>☆UIターンや二地域居住等に関するセミナー・相談会、とちぎでの暮らしの体験機会等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町や関係団体と連携したセミナー・相談会の開催</li> <li>・東京圏との近接性を生かし、週末を利用して繰り返し本県を訪れる週末インターンシップ事業の実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

5 課題（15戦略に関連する課題は☆）

<p><b>住みたい、住み続けたい地域づくり</b></p>
<p>☆&lt;Uターン対策の強化と企業との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・UIターンの更なる促進に向け、本県出身者を中心としたアプローチの強化や、官民連携による支援策の充実など、取組を強化・加速していく必要があります。</li> </ul>



重点戦略	5 誇れる地域づくり戦略
プロジェクト	2 とちぎの文化創造プロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	豊かな自然や歴史の中で培われた本県独自の伝統文化や文化活動を保存・継承していくとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催等を契機に積極的な活用・参加と国内外への発信を推進することにより、地域の活性化を図ります。
重点的取組	①伝統文化等を通じた世代間・地域間交流の促進 ②文化・芸術に親しむ環境づくり

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①「とちぎの文化財」・ 「いにしへの回廊」 ホームページへの年 間アクセス件数 <small>出典：栃木県教育委員会事 務局集計</small>	目安値		16,000件	18,000件	20,000件	21,500件	23,000件	25,000件
	実績値	12,376件	17,148件					
	達成見込		☀️					
成果指標の分析		いにしへの回廊新規ルートの設定や日光東照宮400年式年大祭の影響等もあり、アクセス件数が飛躍的に伸びており、目標達成に向けて概ね順調である。						
成果指標		現状値 H27	H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
②文化・芸術活動参加 率 <small>出典：栃木県「県政世論 調査」</small>	目安値		—	55.0%	58.0%	61.0%	64.0%	66.7%
	実績値	52.1%	52.1%	64.2% (速報値)				
	達成見込		—	☀️				
成果指標の分析		県立文化拠点施設や県内各地での様々な文化イベントの開催など、県民が身近に文化を鑑賞・発表する機会が増加していることも一因となって文化・芸術活動参加率が上昇しており、目標達成に向けて概ね順調である。						
(注) 達成見込の判断 ☀️ : 概ね順調 ☹️ : やや遅れている 🌧️ : 遅れている								

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	32.1%				
やや不満・不満の割合	12.1%				

4 展開方針

<b>伝統文化等を通じた世代間・地域間交流の促進</b>
▷世代間や地域間の積極的な交流
☆高校生が本県の伝統文化等について学ぶ機会の確保 ・各学校における体験活動のほか、総合的な学習の時間や特別活動による伝統文化に関する教育の充実
○貴重な伝統文化を継承する後継者の確保・育成 ・文化振興基金等を活用した、地域の伝統的行事等の保存・継承活動への支援



- 各種媒体を活用した魅力ある文化財情報の発信
  - ・「とちぎの文化財」、「いにしへの回廊」ホームページの継続的なりニューアル
  - ・いにしへの回廊の各ルートを巡るバスツアーの実施
  - ・イベントや講座等を活用した文化財情報の提供

など

### 文化・芸術に親しむ環境づくり

▷県民の文化活動や学習活動の支援

- 学校における文化・芸術活動の充実
  - ・各教科や総合的な学習の時間、特別活動等での学習や文化部活動を通じ、伝統や文化を理解し尊重する態度の育成
  - ・埋蔵文化財センター等の展示や出前授業等を活用し、学校の授業等で「本物」に触れる体験学習の充実
- 美術館、博物館、総合文化センター等における優れた芸術鑑賞機会の提供
  - ・美術館、博物館での充実した企画展や県美アートクルーズ、移動博物館等の開催
  - ・総合文化センター等での優れた芸術の鑑賞会の開催
- 地域の芸術家や若手アーティストの育成支援
  - ・新進芸術家の育成・支援のためのコンクール等の開催
  - ・文化振興基金等を活用した、文化・芸術の担い手の育成・支援
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けたとちぎ版文化プログラムの策定・展開
  - ・平成34年に本県開催となる国体までを見据えた「とちぎ版文化プログラム」の策定とオール栃木体制の構築によるプログラムの効果的な推進
  - ・シンポジウムの開催等による、県内関係団体等の機運醸成

など

## 5 課題（15戦略に関連する課題は☆）

### 文化・芸術に親しむ環境づくり




- <とちぎ版文化プログラムの展開による本県文化の振興>
- ・有形・無形の貴重な伝統文化の継承、文化資源の活用、担い手の育成及び文化情報の効果的な発信のためには、とちぎ版文化プログラムに基づき、新たな取組を展開していく必要があります。

重点戦略	5 誇れる地域づくり戦略
プロジェクト	3 とちぎの誇りプロジェクト

1 プロジェクトの概要

目 標	豊かな自然・歴史・文化等、本県の魅力への理解を深め、とちぎへの愛着や誇りを醸成し、とちぎの魅力・実力を県内外に発信していくことで、本県のブランド力の向上を図ります。
重点的取組	①とちぎへの愛着や誇りの醸成 ②発信力の強化ととちぎのブランド力の向上 ③とちぎの豊かな自然の継承

2 成果指標の状況

成果指標		現状値 H27	H28	H29	H30	H31	目標値 H32
①地域ブランド力（魅力度）全国順位 <small>出典：（株）ブランド総合研究所「地域ブランド調査」</small>	目安値	35位	34位	31位	27位	26位	25位以内
	実績値						
	達成見込						
成果指標の分析	今年度策定するとちぎブランド取組方針に基づき、戦略的な施策を展開していく。（平成28年度実績値は10月上旬公表予定）						
(注) 達成見込の判断  : 概ね順調  : やや遅れている  : 遅れている							

3 満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	35.6%				
やや不満・不満の割合	12.3%				

4 展開方針

<b>とちぎへの愛着や誇りの醸成</b>
▷とちぎへの愛着や誇りの醸成
☆小・中学生へのふるさと学習の推進 ・「とちぎふるさと学習」資料集「みんなで学ぼう！栃木県」、「もっと学ぼう！栃木県」等を授業で活用し、本県の「自然」「産業」「歴史」「文化」等への理解促進
☆「とちぎの百様」を活用した郷土愛の醸成 ・ホームページや大図鑑、ガイドブックによるPRの推進 ・小・中学生を対象とした作文等による「とちぎの百様ジュニアコンクール」の実施 ・ウェブ上で「とちぎの百様」の写真作品を募集・公開する「フォトコンテスト」の実施
など
<b>発信力の強化ととちぎのブランド力の向上</b>
▷本県の魅力・実力の発信ととちぎのブランド力の向上
☆とちぎブランド取組方針の策定 ・官民連携による「とちぎブランド力向上会議」の設置 ・複数年にわたる取組方針の策定

☆オールとちぎでの各種PRやプロモーションの強化

- ・本県の魅力を統一的に発信する拠点となるウェブサイトの設置
- ・県外向けプロモーションの実施

○「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン」の推進

- ・県、市町、関係団体等がビジョンを共有し、連携した取組を協議する場となる「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン推進協議会」の設置
- ・県民や関係団体等の機運醸成を図るため、シンポジウムの開催
- ・県民の連携した取組につながるウェブサイトの構築

など

## とちぎの豊かな自然の継承

▷人と自然が共生するとちぎの実現

○地域住民や企業等との協働による自然環境の保全と利活用の推進

- ・ボランティアニーズや企業の社会貢献意欲の把握、企業と地域住民・保全活動団体とのマッチングによる社会貢献活動の推進
- ・生物多様性アドバイザーなどの各種人材の活用による各種保全活動組織の立ち上げ、取組の継続化などの支援やコーディネートの推進
- ・自然保護や利活用を行う各種活動団体の連携促進と県民の生物多様性に対する意識向上の啓発

○農村環境保全に向けた、多様な主体による協働活動の定着

- ・都市住民・企業と地域住民との協働による農村環境保全活動の支援(企業連携・夢大地応援団)

○シカ・イノシシ等、野生鳥獣を計画的に管理するための個体数調整や生息環境の保全、被害防止対策などの総合的な対策の実施

- ・シカ・イノシシの生息数を平成35年度までに平成25年度から半減させるための、市町が行う有害捕獲の支援強化、県による捕獲の推進
- ・狩猟免許の取得支援や実践的な捕獲技術講習など捕獲の担い手の確保・育成の推進
- ・ヤブの刈払い等、鳥獣を寄せ付けない環境整備の推進、侵入防止柵の設置や森林における忌避剤散布及びネット巻き等の実施による獣害に強い集落づくりの推進
- ・鳥獣被害対策実施隊による地域の実情に即した総合的な対策実施の促進

など

## 5 課題（15戦略に関連する課題は☆）

### 発信力の強化ととちぎのブランド力の向上

<とちぎブランドの確立>

- ・評価の高い本県の地域資源の魅力を地域イメージの形成につなげるためには、戦略的な情報発信を行う必要があります。

<県内におけるオリパラムーブメントの拡大>

- ・「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン」を県内に広め、東京オリンピック・パラリンピック等に向けたムーブメントを起こしていく必要があります。